

国内初!! ダウンタイムを極限まで『ゼロ』にする

「コンティニューエンジンソリューション」を データセンタープロバイダーが提供開始!!

サイバーリスクが急速に高まるなか、サイバー攻撃を受けたり、災害などの理由でシステム障害などが発生しても、ダウンタイム(システムが使用できなくなる時間)をかぎりなくゼロにできる「コンティニューエンジンソリューション」が注目を集めている。そこで、今号ではNeverfail社のコンティニューエンジンソリューション(製品名は「Continuity Engine」)の提供を開始した(株)アイネットに、その採用の理由や今後の展望について聞いてみた。



内海章裕 (うちうみ・あきひろ)

株式会社アイネット DX本部
業務統括部長 兼 セールスサポート室長

フィールドエンジニアとして15年間、パッケージソフトの販売、開発、保守を経験。2015年よりITセキュリティ事業におけるウェブサイト改ざん検知製品の開発、企画、販売に従事。19年に(株)アイネットのセキュリティ担当に就任。同社のセキュリティ事業の立ち上げに携わる。

ハイレベルなBPOを 目指して 「Continuity Engine」を 提供

——まずは御社の事業概要から伺いたいと思います。

内海章裕・アイネットDX本部業務統括部長 兼 セールスサポート室長 当社は1971年に創立した独立系のITサービスプロバイダーで、神奈川県横浜市に拠点を置いています。国内最高レベルの安全性を備えたデータセンターと長年培ったシステムの運用管理をベースに、先進のクラウドコンピューティングをはじめとして、システムの企画・開発から運用・監視、受託計算サービス、印刷・封入封緘、さらにはBPO(顧客業務の一部を受託)にいたるまで

のサービスをワンストップで提供しています。

——「(株) Neverfail社の「コンティニューエンジンソリューション」(Continuity Engine)の提供を開始したそうですが、その背景についてお聞かせください。

内海 当社は横浜市戸塚区に自社データセンターを4棟有しており、多くのお客さまのデータを安全に保管・運用しています。サービス内容も高く評価していただき、おかげさまで順調に顧客数も伸びているところです。しかし、南海トラフ地震などの災害リスクが高まるなか、当社としては災害対策やサイバーセキュリティの面でも十分なレベルにあると自負しているもの、これまで以上の強化を考えると、



のためのさらにハイレベルなBCP(事業継続計画)を練っているのです。

——サイバーセキュリティの面についてはどうでしょうか。

内海 そうですね。実際、サイバーリスクを不安視する事業者は非常に多く、先日も規模の大きい医療機関から被害に遭うとサーバーのデータが暗号化されるなどして使用不能に陥るランサムウェア(身代金要求型ウイルス)の対策に関する相談を受けました。こうしたリスクに対して当社では、NDR(Network Detection and Response: ネットワーク上における不審な通信などを可視化するソリューション)をはじめとするセキュリティ(イン)を提供し、お客さまのセキュリティ強化を支援しております。しかし、ランサムウェアやマルウェアは日増しに巧妙化しており、こうした対策を突破されるリスクがないとはかぎりません。また、突破された場合に備えた復旧ソリューションに関しても、完全復旧にはならなかったり、復旧まで

に長々と時間を要したりと課題があります。医療やライフラインに関連する事業者の場合、こうしたダウンタイムが命取りになりかねません。そこで、サイバーセキュリティの面からも、より高度なソリューションとBCPを構築すべきでないかとの考えにいたりしました。

「Continuity Engine」を中堅・中小企業に普及したい

——そういったなかで、Neverfail社のContinuity Engineに出会ったわけですね。

内海 セキュリティに関するあらたなソリューションを探していたときに、もともと協業関係にあった(株)ブロード(東京都千代田区)からNeverfail社のContinuity Engineの話があり「このソリューションなら復旧の不完全性とダウンタイムというふたつの問題を一気に解消できる」と直感し、取り扱うことにしました。

——Continuity Engineの特徴についてお聞かせください。

内海 ハードウェア障害のよう

にサーバー全体に影響をおよぼす場合はもちろんのこと、ネットワークやアプリケーションレベルといった部分的な範囲で何らかの異常が生じてても、瞬時に待機系と呼ばれる予備の機構に切り替えることができるので、システムを稼働させながら障害回復をすすめられるのが最大の利点です。つまり、このソリューションを導入しておけば、サイバー攻撃を受けたり、災害などの理由でシステム障害が生じても、ユーザーが直接使用するもつとも重要なアプリケーションを停止することなく稼働させることができ、事業を継続できるのです。Neverfail社によると、ダウンタイムが許されないアプリケーションの稼働率が99・9割以上とのことなので、まさに安心・安全なソリューションといえます。

——データセンターの領域においても活用できそうですね。

内海 オンプレミス、つまり自社施設でシステムを稼働しているお客さまには、当社のデータセンターにてぜひ、Continuity

Engineを構築してもらいたいと考えています。それは災害やサイバー攻撃を受けた場合でも事業を継続できるからです。また、当社はクラウド化支援から運用まで手掛けているため、クラウド移行に不安を抱えているお客さまにも、クラウドでの安全なシステム稼働のためにContinuity Engineを活用してもらいたいと考えています。

——そのほか、Continuity Engineを活用した事業展開として、どのようなことを想定していますか。

内海 Continuity Engineの総代理店であるブロードと連携しながら、医療やライフラインに関連する事業者でContinuity Engineを展開していければと思っています。ちなみに、Continuity Engineは世界的にかなりのシェアを有していますが、驚くべきことに日本での販売実績はほとんどなく、今年ようやく進出してきたばかりです。大企業の多くは膨大な予算を投じて大規模な対策を構築していますが、中堅・中小企業の多くは依然としてそこまで手が回っていません。これは大きなビジネスチャンスだと思うので、積極的にPRしていきたいと考えています。

☒



もう無駄な時間と費用は「0」にしましょう



HP Sure Click Enterprise

おかげさまで Bromium は HP Sure Click Enterprise に進化しました



エンドポイントのサイバー対策に関する費用や専門家は、もう必要ありません。100%* 防御し、レポートします。是非ブロードにお問い合わせください。

*2013年以降、Bromiumは推計20億以上のMicroVMが実行されましたが、侵害報告件数はゼロです。(Bromium社調べ)

詳細は「BROAD Security Square」で… <https://bs-square.jp/columbus>

株式会社ブロード

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスビル永田町7F
TEL: 03-6205-7463 (代表)

